

協議事項(3):地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

(1)事業評価の目的について

地域公共交通網形成計画との関連性や、地域全体の交通ネットワークにおける補助対象事業の位置づけを整理し、地域全体の交通網を踏まえた評価及び見直しをすることを目的とします。

(2)事業評価対象期間

令和7年度補助対象事業実施期間

令和6年10月1日～令和7年9月30日

(3)今後の流れ

令和8年1月16日までに国へ提出し、国による事業評価(二次評価)が行われます。

事業評価をもとに補助金交付決定及び額が確定し、運行事業者へ補助金が交付されます。

☆令和8年2月に開かれる第三者評価委員会に出席し、評価を受けます。

2. 目標の達成状況と今後の方針

系統	目標値	実績値	達成状況
2コース	32,742 人	34,298 人	達成
3コース	78,420 人	80,655 人	達成
4コース	34,710 人	33,866 人	未達成

【令和7年度の取組状況】<事業評価を踏まえた取り組み>

系統	運営主体の取組
全コース	移動に制約のある方やバス利用に抵抗がある方への利用促進のため、「知立市福祉健康まつり with 草の根フェスティバル」にバス車両を展示し、実際に乗車体験等を行ってもらうことで、利用への抵抗をなくしてもらえよう啓発活動を行う。
2コース	新規利用者獲得のため、運行改正により、御手洗公園バス停及び三河知立駅バス停を新設した。

【今後の取組】<令和7年度、令和8年度に行う取り組み>

系統	運営主体の取組
全コース	市民アンケート調査の結果では、ミニバスの認知度は92.5%であったが、その反面、自宅近くのバス停から行くことのできる施設の把握については25.3%に留まっており、特に若年層の割合が高いため、定期的に官民連携した公共交通イベントへの参加等で啓発を行っていくとともに、実際に利用することを前提とした乗り方講座等を検討・実施する。
4コース	市民アンケート調査の結果から、他のコースと違い、普段使用する駅が野田新町駅、刈谷駅と生活基盤が刈谷市に近いことが伺えるため、刈谷市と連携し、モデルコースの作成などを検討・実施する。

全体では、現利用者の利用促進のため、引き続き広報・ホームページ・公式 LINE アカウントを活用し、最新の情報を提供していきます。

【 余 白 】

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料8-2

協議会名: 知立市総合公共交通会議

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況							⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)		
運営主体	運行事業者	系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成	輸送量(人)				収支率(%)				
							R7計画	R7実績	(平均乗車密度)	(運行回数)	R7計画	R7実績			
知立市	名鉄バス(株)	01 ミニバス(2コース) ※バス車両の導入にあたっては、地域公共確保維持事業の公有民営方式車両購入費補助を活用(令和6年度) 関係市町村：豊田市	知立駅～三河八橋駅～知立駅 (15.6km)	【全コース】 ・利用状況、運行状況について近隣市間で公共交通担当者会議を開催し、情報共有を密接に図り、計画づくりに継続的に反映した。 ・定期的に広報やHP等にミニバスに関する記事の掲載。公式LINEアカウントにおいても運行情報の提供した。 ・乗継時間等を考慮したダイヤ改正を検討・実施した。	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく所定の事業計画通りの運行が実施された	A	目標：32,742 実績：34,298(104.7%) 前年度比105.4% 乗客の年齢層が高いコースであり、アビタ(652人増)、知立駅(515人増)にて利用者の増加が見られることから高齢者の買物等お出かけ支援の一助となっていることが伺える。	17.8	21.3	2.4	8.9	11.52	11.38	○今後の課題 【全コース】 コロナ禍後、増加してきた利用人数が頭打ちになってきており、今後は利用人数の維持及び新規利用者の開拓を行う必要がある。 ○課題を改善する取組 【全コース】 今年度実施した交通計画策定に係る市民アンケート調査の結果では、ミニバスの認知度は92.5%であったが、その反面、自宅近くのバス停から行くことのできる施設の把握については25.3%に留まっており、特に若年層の割合が高いため、定期的に官民連携した公共交通イベントへの参加等で啓発を行っていくとともに、実際に利用することを前提とした乗り方講座等を検討・実施する。
知立市	名鉄バス(株)	02 ミニバス(3コース) 関係市町村：刈谷市	知立駅～東刈谷駅～知立駅 (13.4km)	・GTFSデータを整備し、GoogleMap上のルート検索に対応するなど利用者の利便性を向上させた。 ・各バス停にバスロケの利用方法、同一名バス停に位置情報を掲載して利用者の利便性の向上を図った。 ・ハンディキャップのある方やバス利用に抵抗がある方への利用促進のため、「知立市福祉健康まつりwith草の根フェスティバル」にバス車両を持ち込み、実際に乗車体験等を行ってもらうことで、利用への抵抗をなくしてもらえるよう啓発活動を行った。	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく所定の事業計画通りの運行が実施された	A	目標：78,420 実績：80,655(102.8%) 前年度比105.1% 乗客の年齢層が若いコースであり、アビタ(1,201人増)、知立駅(698人増)、東刈谷駅北口(153人増)にて利用者が増えており、通勤・通学、買物需要に応えられていると伺える。	60.4	73.1	6.9	10.6	24.93	25.01	【4コース】 今年度目標値を下回ってしまったため、課題の整理を行う必要がある。市民アンケート調査の結果から、他のコースと違い、普段使用する駅が野田新町駅、刈谷駅と生活基盤が刈谷市に近いことが伺えるため、刈谷市と連携し、モデルコースの作成などを検討・実施する。
知立市	名鉄バス(株)	03 ミニバス(4コース) ※バス車両の導入にあたっては、地域公共確保維持事業の公有民営方式車両購入費補助を活用(令和2年度) 関係市町村：刈谷市	知立駅～野田新町駅～知立駅 (15.1km)	「知立市福祉健康まつりwith草の根フェスティバル」にバス車両を持ち込み、実際に乗車体験等を行ってもらうことで、利用への抵抗をなくしてもらえるよう啓発活動を行った。 【2コース】 ・豊田市バスマップへ当該路線の情報を継続的に掲載した。 ・新たな利用ニーズの開拓のため、御手洗公園及び三河知立駅を新設した。	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく所定の事業計画通りの運行が実施された	B	目標：34,710 実績：33,866(97.5%) 前年度比99.4% 他のコースと比較し、知立駅(472人減)、アビタ(239人減)で利用者が減少している反面、ウォーターパレスKC(303人増)、野田新町駅北口(316人増)、ドミー(230人増)が増加しており、利用ニーズが異なることが伺える。	20.5	23.1	2.6	8.9	11.25	11.39	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

資料8-3

協議会名:	知立市総合公共交通会議
評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>【ミニバス2コース】</p> <p>■路線の特性及び利用者の特徴 知立駅を起終点として、市内北東部を周回し、豊田市内の名鉄三河八橋駅を経由する路線である。名鉄三河八橋駅を利用しての、豊田市方面への通勤、通学、買い物等の利用が多い。</p> <p>■路線の必要性 名鉄三河八橋駅を利用しての、豊田市方面への通勤、通学、買い物等の利用が多く、生活に欠くことができない交通手段となっている。</p> <p>【ミニバス3コース】</p> <p>■路線の特性及び利用者の特徴 知立駅を起終点として、市内南部を周回し、刈谷市内のJR東刈谷駅を経由する路線である。JR東刈谷駅を利用しての、通勤・通学・買い物等での利用が多く、刈谷市のコミュニティバスや安城市のコミュニティバスへの乗り換えもできる。</p> <p>■路線の必要性 JR東刈谷駅を利用しての、通勤・通学・買い物等での利用が多く、刈谷市のコミュニティバスや安城市のコミュニティバスへの乗り換えもできることから、生活に欠くことができない交通手段となっている。また、刈谷市内の総合病院に通院する高齢者が多く利用しており、重要な路線となっている。</p> <p>【ミニバス4コース】</p> <p>■路線の特性及び利用者の特徴 知立駅を起終点として、市内南西部を周回し、刈谷市内のJR野田新町駅を経由する路線である。JR駅を利用しての、通勤・通学・買い物等での利用が多く、刈谷市のコミュニティバスへの乗り換えもできる。</p> <p>■路線の必要性 JR野田新町駅を利用しての、通勤・通学・買い物等での利用が多く、刈谷市のコミュニティバスへの乗り換えもできることから、生活に欠くことができない交通手段となっている。また、刈谷市内の総合病院に通院する高齢者が多く利用しており、重要な路線となっている。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、ミニバス2コース、3コース及び4コースを確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>